

常任委員会レポート

議員は、常任委員会に所属し、それぞれ調査研修を行っています。
研修・視察で知り得たことを、今後の議会活動に生かしていきます。

建設産業

飯塚市は、市営住宅ストック総合活用計画を策定し、それに沿って老朽化した市営住宅を建替え、改善して居住水準や設備水準の向上を目指していました。既設の市営住宅を有効に活用しながら、安全で快適な住宅整備が図られていました。建替えは、障害者や高齢者に対応したバリアフリー化などができる一方、現状で満足している入居者からは、家賃が高くなることなどの理由で反対もあるようでした。

北九州市では、「みち再生事業」として、「身近な道を安全で快適な空間に」、「沿道空間と一体となった使いやすい道へ再生」することを目指し、地域と共に道の使い方を見直し、整備後のルールづくりや既存道路空間、沿道空間の積極的活用が図られていました。また、車道を狭くすることで、車両の駐停車を削減し、安全性を向上する手法が採られていました。本町でも見習うべきことが多い研修でした。



調査地／福岡県飯塚市・北九州市
調査事項／市営住宅

あんしん歩行エリア／歩行者・自転車優先のみちづくり



総務文教

宇土市では、小学校六年・中学校三年の制度は維持しつつ、教育課程を発達段階に
応じて前期（四年）、中期（三年）、後期
（二年）とするともに、一校区で教師の
小中相互乗り入れ、新設教科など、工夫し
た教育が実施されていきました。その結果、
中学生で、英語が好きと答える割合が八割
と、県内平均の四割に比べ大きく、小学校
からの積み重ねの結果であると感じまし
た。

佐賀市では、有料指定袋の収入を財源
に、登録住民団体が回収した古紙・古布一
キログラムにつき三円の奨励金を支払って
いました。分別意識が向上し、資源物全体
の回収量が増えていました。また、清掃セ
ンター工場棟などの解体で、請負業者選定
から解体工事（特にダイオキシン対策）ま
でに留意した点は、今後、本町でも大いに
参考にすべきと感じました。

調査地／熊本県宇土市・佐賀県佐賀市
調査事項／小中一貫教育

資源物回収奨励金制度／廃棄物焼却施設解体工事